

沖縄における外来生物問題を考えるシンポジウム ～島嶼の生態系を守るために～

今、世界的に外来生物が大きな問題となっています。世界自然遺産登録を目指す沖縄においても例外ではありません。本シンポジウムでは沖縄の大切な生物や文化の多様性についてゲッチョ先生こと盛口満先生からお伺いし、続いて沖縄における外来生物とは何か、どのような活動が行政や民間で行われているのか、幅広く学ぶ機会としたいと思います。

日 時：5月27日(土) 13:30～18:00
場 所：八汐荘屋良ホール（那覇市松尾 1-6-1）
参加費：無料
主 催：WWF ジャパン、日本自然保護協会
共 催：自然保護助成基金
後 援：沖縄生物学会、沖縄県教育委員会



講演：

「沖縄の自然と文化の多様性」	盛口 満 (沖縄大学)
「外来種は何が問題なのか？」 ～沖縄での事例をもとに～	佐々木健志 (琉大風樹館)
「マングース、ノイヌ、ノネコ問題」 ～終わりなき戦いを終わらせるために～	長嶺 隆 (NPO 法人どうぶつたちの病院沖縄)
「沖縄県が取り組む外来種対策事業の概要」	德里 政哉 (沖縄県自然保護課)
「地域と連携し、橋渡しする外来種問題対策の重要性」 - 奄美群島でのアプローチ -	権田 雅之 (WWF ジャパン)
「IUCN 世界自然保護会議での勧告について」	安部真理子 (日本自然保護協会)



<お問合せ先>

公益財団法人日本自然保護協会
保護室 外来種シンポジウム担当

TEL:03-3553-4103 e-mail:umi@nacsj.or.jp